



地域農業の振興と発展のために尽力

今年で48回目を迎える熊本県農業コンクール大会において、齊藤信幸さん（西仲町）が地域貢献賞を受賞され、2月8日に熊本テルサで行われた表彰式で表彰されました。

齊藤さんは、就農を希望する研修生の受け入れを積極的に行ない、長年培ったトマト栽培技術や知識を惜しみなく伝授してこられました。

また、研修生が就農した後も、農地や機械、住居などについて斡旋や相談を受けるなど支援、指導を継続され、新規就農者の地域定着に向けて尽力されたことが、地域農業の振興と発展に大きく貢献したと評価され、今回の受賞に至りました。



元気いっぱい!坂梨校区駅伝大会

第31回坂梨校区新春駅伝大会が、2月10日、坂梨公民館前をスタートし校区内を周るコースで行われ、11チーム、子どもから大人まで154人が力走しました。この大会は、公民館と体育協会が主体となり毎年開催しているもので、今年は、選手宣誓を高木あやかさんと市原みきさんがつとめ、日吉教育長のピストルの合図で元気にスタートしました。今回は国立阿蘇青少年交流の家チームも初参加し、大会を一層盛り上げました。

また、レースの様子を地元の方がアマチュア無線を使って生中継し、公民館前のテレビ観戦応援も過熱。走者の皆さんもつい本気になってしまうそうです。

たくさんの地域の人たちの参加で心も体も温まる大会となっています。



小さな力士たちが奮闘!

わんぱく相撲交流会が2月2日、りんどう保育園で開催され、同園の園児約70人が阿蘇北中学校相撲部や近隣の小学生らと相撲をとり、交流を行いました。

これは、園児の心身の鍛錬と世代間交流を目的として毎年行われているもので、今年で16回目です。

この日、園児はまわし付きパンツを身に付け、県相撲連盟副部長の岩下二夫さん（下井手）指導のもと、中学生らを相手に相撲をとりました。複数の園児が中学生の胸に体当たりする場面では、“小さな力士たち”が奮闘する姿に保護者などから大きな声援が飛び交いました。



鬼が来たぞ〜!

節分にちなみ、「先生の言うことをきかない子はどこだー」と叫びながら、色とりどりユーモアたっぷりの鬼たちが永水保育園にやって来てきました。

この鬼たちは、内牧商店街の若者たちでつくる人気の鬼たちで、毎年近くの保育園を回って子どもたちを喜ばせています。

保護者の参観日にあわせ、大勢で豆まきを行った永草保育園では、手作りのかみしもを着た園児たちが逃げながらも必死に鬼に豆をぶつけ、その様子や鬼たちのパフォーマンスに保護者からも笑いが起こり楽しい厄払いになりました。